

吉川小学校だより

平成26年度 9月号



実りのある二学期に

校長 濱田 芳郎

お盆過ぎから暦どおり秋らしくなり、朝晩はとも過ごしやすくなってきました。今年鹿児島県では、八月中猛暑日が一日もなかったというところで、夏休み中も生活に支障が出るような暑さがなかったことは、とてもありがたいことでした。

子どもたちに始業式で実りのある二学期にするために、

- 1 考えて行動する。
- 2 てげてげですまさない。というように頑張ってください。話をしました。考えて行動することは、自分の身を守る（安全確認）から相手を思いやる心配りができるようになること。てげてげですまさないことは、一人一人が持っている力を存分に発揮すること、あるいは、やるべきことはやめていねいな字を書くように心がけること等について話

しました。ただ、子どもたちのほとんどが鹿児島弁「てげてげ」の意味を知らなかったことは、驚きでした。

夏休み中、卒業生あるいは吉川小学校に関わりのあつた方数名から電話をいただきました。内容は、「今年で最後なんですね。」「運動会あるいは、閉校記念式典には、是非出席させてください。」という話から当時の思い出話をいろいろ聞かせてくださいました。吉川から離れていても、たくさんの方々にとって

は、吉川小学校は、心の故郷なんだなと改めて感じることでした。



9月1日 2学期始業式

思い出いっぱい、夏休み



田んぼで遊ぼう

も終わりが近づいた八月二十四日、育成会主催で「田んぼで遊ぼう」という行事が行われました。タイムトルドおり、田んぼの中でどろんこにまみれながらミニバレーボールをしたり、そり引き競走をしたりして遊びました。また、お昼は手作りの竹樋を使って「そうめん流し」を楽しみました。

夏祭りin吉川

長かった夏休みが終わりました。四十四日間の休みでしたが、充実した時間を過ごした子どもたちにとってはあっといふ間だったかもしれません。夏休みの間、吉川でも思い出に残るいくつかの行事が行われました。それらに参加して「吉川小学校最後の夏休み」を心に刻んだ子どもも多かったと思います。

八月十三日、毎年恒例の「夏祭りin吉川」が行われました。今年も参加者も多く、例年以上に盛り上がりつつあります。吉川小学校の子どもたちも、昼間の川遊び、夜のお祭りや大いに楽しんだようです。また、大勢の観客を前にハンヤ踊りを披露することもできました。道路には空き缶を再利用した灯籠も飾られ、幻想的な雰囲気の中で夏祭りを演出していました。



ダチョウの卵

夏休みに、坊野さんが本物の「ダチョウの卵」を持ってきてくださいました。殻だけのもものは時々動物園に展示してあったりしますが、中身が詰まった新鮮なダチョウの卵はとても珍しいと思います。大ききもさることながら、手に持ってみると重さのずっしりとした重さも驚きです。出校日に子どもたちに見せてあげたかったのですが、残念ながらたまたま学校に来ていた子どもたちが割ってしまった、実際に割りました。しかも、黄身の大きさにまたびっくり。最後は田之上先生が卵焼きにしてくれました。坊野さん、どうもありがとうございました。



緑陰読書

八月二十一日の出校日の際に緑陰読書を実施しました。八月は終戦の月でもあるので、戦争を題材にした『おはじきの木』（あまみきみこ作）を読書指導担当の田之上先生に読んでいただき、戦争の争末期に親とわかれた子どもたち、争いで亡くなった女の子、取り残された父親の悲しいお話です。子どもたちはみんな真剣に聞いていました。平和の大切さについて考える機会になります。

児童の交通事故等の防止について

すでにご存じのことと思いますが、夏休み中に薩摩川内市内の小学生が踏切で列車にはねられ死亡するという痛ましい事故がありました。

8月21日の出校日の際には、全校児童で亡くなられた児童のご冥福をお祈りするとともに、今後このような事故が発生することがないように、改めて指導を行ったところです。しかしながら、本校は特認校であることから、大部分の児童が校区外に住んでおり、児童の自宅周辺における生活の様子については職員の目が届きにくい現状があります。そこで、それぞれの地域の危険箇所の把握や安全指導等については、保護者の皆様のご協力とご指導が必要不可欠となります。

つきましては、今後このような事故が起きることがないように、下記をご覧になり児童に対する継続的な指導と見守りをお願いいたします。

- 1 踏切事故防止
 - (1) 踏切を渡る前は、必ず立ち止まって自分の目と耳で右・左の確認を行うこと。
 - (2) 警報器が鳴り始めたら横断をせず、止まって待つこと。また、下りた遮断機をくぐって踏切を渡らないこと。
 - (3) 踏切以外の場所で線路を横切ったり、線路の中で遊んだりしないこと。
 - 2 交通事故防止
 - (1) 道路を横断する際は、信号機の有無にかかわらず、必ず立ち止まって左右の安全確認をすること。
 - (2) 自転車に乗る際は、ヘルメットを着用し、「あごひも」まで確実に締めること。
- ※ 水難事故、転落事故、不審者等に対してもこれまで同様十分に警戒し、具体的な指導をお願いします。
- ※ 居住地周辺（母体校の校区内）の危険箇所に気づかれた場合は、学校にご連絡ください。